

当てられたとき請求を発生させるためである。これらはFT1-7-transaction code FT1-7で使用される値と同じセットであるべきである。値はサイトで打ち合わされる。とりうる値は表0132-Transaction codeを参照。

4.8.7 例：MFN ロケーションマスターファイルメッセージ

```
MSH|^~\&|HL7REG|UH|HL7LAB|CH|19910918060544||MFN^M05|MSGID002|P|2.2||AL|NE<cr>
MFI|LOC||UPD|||AL<cr>
MFE|MAD|PMF98123789182|199110011230|3A^RM17^17-2^FAC1<cr>
LOC|3A^RM17^17-2^FAC1|BEST BED IN UNIT|B|UNIVERSITY HOSPITAL|54326 SAND POINT
WAY^A^SEATTLE^WAA98199|(206)689-1329|92837465998|OXY<cr>
LCH|3A^RM17^17-2^FAC1|||IMP|Y<cr>
LRL|3A^RM17^17-2^FAC1|||LAB|3WEST PATH LAB<cr>
LDP|3A^RM17^17-2^FAC1|PED|MED|PIN|I|A|19941004||||(206)689-1363<cr>
LCC|3A^RM17^17-2^FAC1|PED|PIC|R38746<cr>
```



```

ORC|...
OBR|...
OBX||NM|3A016000002327101^A/G比^JC10^402^A/G比^BML|||||||0
ORU 検査結果メッセージ
MSH|...
PID|...
OBR|...
OBX||NM|3A016000002327101^A/G比^JC10^402^A/G比^BML||2.33||1.30 - 2.00|H|||F

```

A.5.3 診療機関側がTP、ALB をオーダーした場合、検査センター側はそれに加えて、A/G比も返す。

```

ORM 検査依頼メッセージ
MSH|...
PID|...
ORC|...
OBR|...
OBX||NM|3A010000002327101^総蛋白(TP)^JC10^401^総蛋白(TP)^BML|||||||0
OBX||NM|3A015000002327101^アルブミン(ALB)^JC10^403^アルブミン^BML|||||||0
ORU 検査結果メッセージ
MSH|...
PID|...
OBR|...
OBX||NM|3A010000002327101^総蛋白(TP)^JC10^401^総蛋白(TP)^BML||7.0|g/dl|6.5 - 8.2|<SP>|||F
OBX||NM|3A015000002327101^アルブミン(ALB)^JC10^403^ALB^BML||4.9|g/dl|3.7 - 5.5|<SP>|||F
OBX||NM|3A016000002327101^A/G比^JC10^402^A/G比^BML||2.33||1.30 - 2.00|H|||F

```

A.5.4 TP、ALBをオーダーし、さらにA/G比もオーダーしないと検査センタ側はA/G比を返さない。

```

ORM 検査依頼メッセージ
MSH|...
PID|...
ORC|...
OBR|...
OBX||NM|3A010000002327101^総蛋白(TP)^JC10^401^総蛋白(TP)^BML|||||||0
OBX||NM|3A015000002327101^アルブミン(ALB)^JC10^403^アルブミン^BML|||||||0
OBX||NM|3A016000002327101^A/G比^JC10^402^A/G比^BML|||||||0
ORU 検査結果メッセージ
MSH|...
PID|...
OBR|...
OBX||NM|3A010000002327101^総蛋白(TP)^JC10^401^総蛋白(TP)^BML||7.0|g/dl|6.5 - 8.2|<SP>|||F
OBX||NM|3A015000002327101^アルブミン(ALB)^JC10^403^ALB^BML||4.9|g/dl|3.7 - 5.5|<SP>|||F
OBX||NM|3A016000002327101^A/G比^JC10^402^A/G比^BML||2.33||1.30 - 2.00|H|||F

```

A.6 細菌検査（培養同定・感受性試験）の例

培養同定は、培養により発生する細菌種の数が不定であるが、同定できた菌名が検査結果でありその数だけOBXセグメントを作成する。さらに、感受性試験は同定できた菌ごとに行われる所以、それに対応したOBRセグメントを生成し、試験薬剤ごとにOBXセグメントで結果報告する。感受性試験やその対象薬剤は施設により予め定めている場合と、個々に依頼する場合があるので事前の確認が必要である。

付録 B. 医療情報交換規約運用指針 MERIT-9での扱い

B.1 MML(Medical Mark-up Language)での臨床検査結果記述

医療情報交換規約運用指針MERIT-9(Medical Record Image Text - Information Exchange)では、SGMLに準拠したMML(Medical Mark-up Language)を用いて記述されたカルテ情報や、すでに標準的規約の検討が進んでいる放射線画像や臨床検査を包括的に取り扱うものである。この中で、臨床検査結果はMML規約のCLINICAL-ENCOUNTER-SECTION中のOBJECTIVE-SECTIONにおいて、外部ファイル参照として定義される。参照されるファイルはJAHIS臨床検査データ交換規約検査結果報告に準拠し、HL7 Ver2.3のORUメッセージでコーディングする。

B.1.1 MMLによる臨床検査結果の記述

```
TEST-RESULT TYPE="LABORATORY"
    MREF      CONTENT-TYPE="APPLICATION/HL72.3-HL7ER2.3"
              EXAM-DATE="yyymmdd"
              REF=" url (file://path name/file name.HL7) "
```

上記のアトリビュートはすべて必須である。EXAM-DATEには検査日や検体採取日を記述しこれは検査結果ファイル中の代表されるOBR-7と同値であること。REFには参照先ファイル名をURL標記で記述する。ファイル名は互換性を考慮し英字で始まる英数字8文字以内とすることを推奨する。拡張子はHL7とする。

B.1.2 MERIT-9 MML 臨床検査結果 記述例

```
< CPR-MML >
< MML-INFORMATION-SECTION > ..... < /MML-INFORMATION-SECTION >
< PATIENT-ID-SECTION > ..... < /PATIENT-ID-SECTION >
< CLINICAL-ENCOUNTER-SECTION > .....
< OBJECTIVE-SECTION > .....
< TEST-RESULT TYPE="LABORATORY" >
    < MREF CONTENT-TYPE="APPLICATION/HL72.3-HL7ER2.3" EXAM-DATE="19970523"
        REF="file:///pid001/oal001.hl7" > ----- HL7 ORU Message
    < MREF CONTENT-TYPE="APPLICATION/HL72.3-HL7ER2.3" EXAM-DATE="19970523"
        REF="file:///pid001/oal002.hl7" > ----- HL7 ORU Message
< /TEST-RESULT >
.....
< /OBJECTIVE-SECTION >
.....
< PLAN-SECTION > .....
< TEST-ORDER ..... > ..... < /TEST-ORDER >
.....
< /PLAN-SECTION >
.....
< /CLINICAL-ENCOUNTER-SECTION >
.....
< /CPR-MML >
```

注： MML/MERIT-9の詳細については <http://merit-9.mi.hama-med.ac.jp/>を参照のこと

B.2 医療情報交換規格運用指針MERIT-9 臨床検査データ交換

B.2.1 適用

病院・診療所や臨床検査センターなどの医療関連施設間相互に臨床検査(検体検査)の依頼や結果のやり取りを電子的に行う場合の運用指針とする。

B.2.2 構成

臨床検査依頼や結果報告は会話型でなく当面ファイルで行うものとする。ファイルは封筒に相当する見出しファイルと検査情報ファイルおよびその参照ファイルから構成される。使用環境によっては見出しファイルは省略可とする。MERIT-9準拠の受信側は見出しファイルの有無にかかわらず対応できるものとする。これらファイルを区別するために見出しファイルの拡張子を“F10”、検査情報ファイルを“HL7”とする。見出しファイルは現在検討中であるがXMLを用い次のような情報が盛り込まれる予定である。

宛先 :

差出人 :

内容 : 検体検査

患者 : 特定／複数

抽出期間 : From、To

メッセージ型 : 依頼／結果／両方

形式 : HL7V2.3.1 (JAHIS臨床検査データ交換規約)

メッセージファイル名 :

暗号化 : 有／無

メッセージ作成日 :

検査情報ファイルはJAHIS臨床検査データ交換規約Ver.2.0によるものとする。詳細は「JAHIS臨床検査データ交換規約Ver.2.0」およびその改訂速報を参照のこと。

これらファイル以外に検査情報ファイルから参照されるファイルが含まれる場合がある。

